ICTニュース
～マイコプラズマ肺炎～

院内感染対策委員会
2016年11月号

青森県の感染症発生状況

（2016/10/17～2016/10/23）

1．マイコプラズマ肺炎は、むつ保健所管内で、患者報告数の増加傾向が続いています。2．A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、定点あたり患者報告数が東地方保健所+青森市保健所管内で2.38 に、八戸保健所管内で2.90 に増加し、県全体では、前週の0.76 から1.62 に増加しました。

3．流行性角結膜炎は、東地方保健所+青森市保健所管内で定点あたり患者報告数が 3.00 に増加しました。

マイコプラズマ肺炎流行中

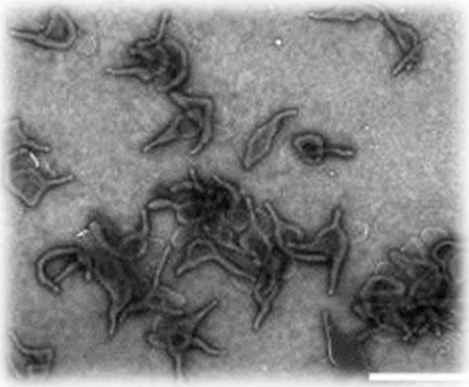
マイコプラズマ（マイコプラズマ・ニューモニア図左下）肺炎は肺炎マイコプラズマという細菌に感染することによって起こる呼吸器感染症です。小児や若い人の肺炎の原因としては、比較的多いものの１つで、2015年の青森県内の患者報告数の半数が５歳以下でした。そこからの大人の感染も増加しています

潜伏期間：２～３週間で、発熱、だるさ、頭痛、痰を伴わない咳などの症状が見られます。咳は熱が下がった後も長期（３～４週間）にわたって続くのが特徴です。

マイコプラズマ肺炎は冬に報告数がやや増加する傾向があるため、今後の発生動向に注意が必要です（左下図）

感染経路：患者の咳のしぶきを吸い込んだり、患者と身近で接触することにより感染すると言われています。予防のためにはマスクを着用し、普段から、手洗いをすることが大切です。

検査：血清・迅速キットあり　（感度・特異度注意）



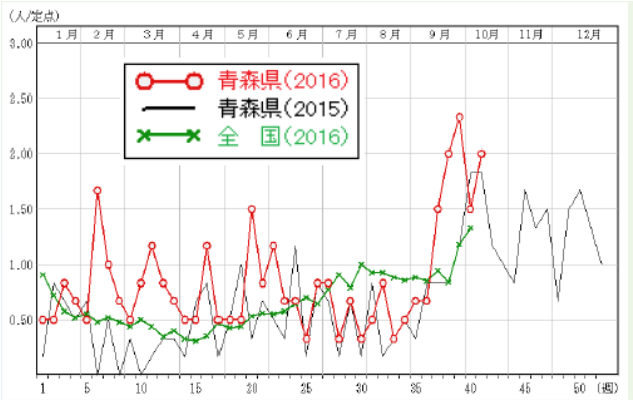


図　マイコプラズマ肺炎　定点当たり報告数
（2016 年青森県　2015 年青森県　2016 年全国）